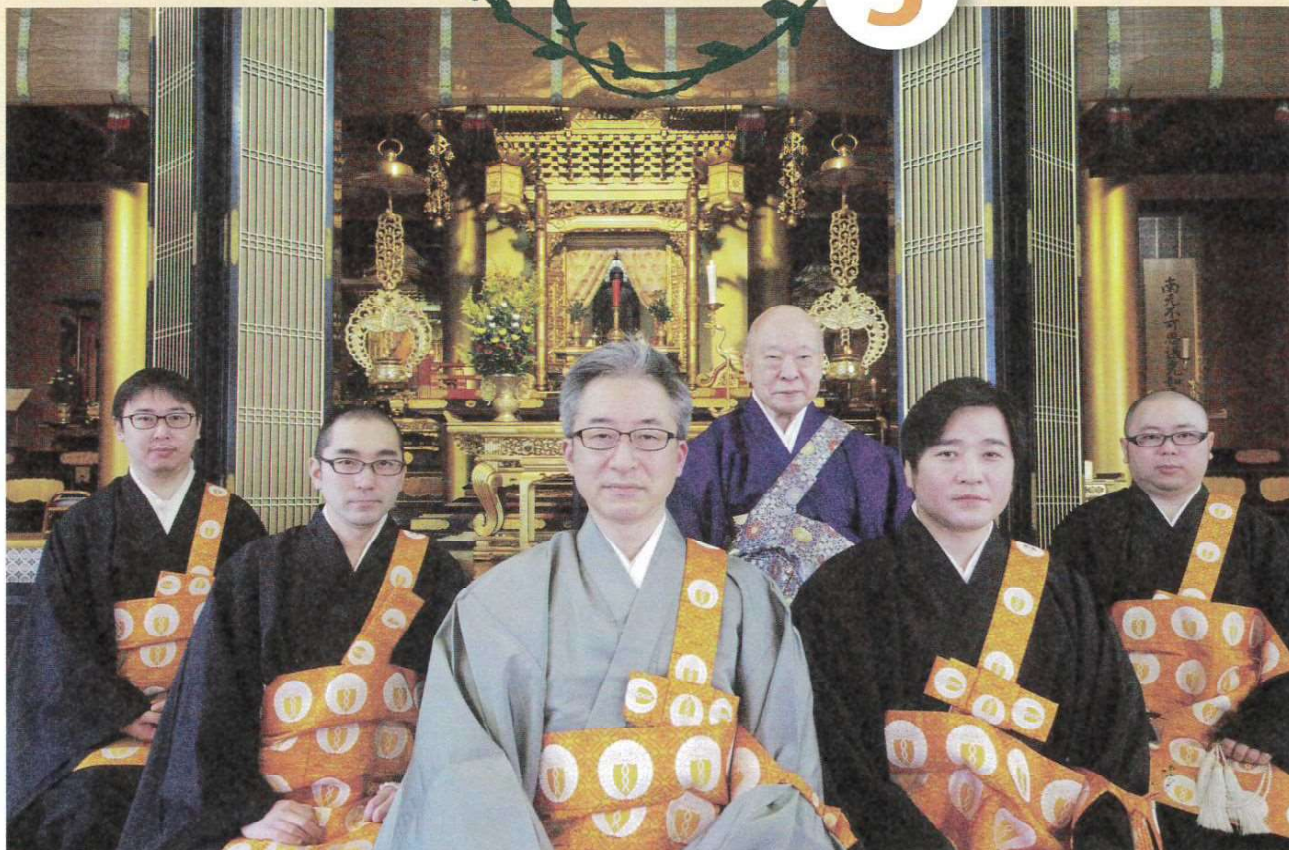


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 山崎 哲
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



暮らしの中の仏教



今月の予定

3月

- | | |
|---------------|-----------------|
| 3日(水) | 仏具磨き |
| 7日(日) | 城北ブロック会間法会 (中止) |
| 13日(土) 午後1時半 | 定例間法会 |
| 17日(水)～23日(火) | 春季彼岸会 |
| 22日(月) | 春季永代経法要 |
| | 聖徳太子奉讃会 |
| 27日(土) | 同行会 |
| 30日(火) 午後7時 | 仏教青年会(映写会) |
| 31日(水) 午後1時半 | 婦人会 |

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。

春季永代経法要のお知らせ

日時：令和3年3月22日(月)
午後1時半～

法話：仲井 真裕

※本来ならば、本山より差向布教を依頼しておりますが、コロナウイルスの影響により、今年は山内職員の法話とさせていただきます。また彼岸期間中の墓参は例年通りしていただけます。感染対策をしてお参りください。

ご協力いただきますよう、宜しくお願い致します。

3月の山門の言葉

煩惱をやめることはできぬけれど 煩惱と知ることにはできる

真宗大谷派僧侶 仲野 良俊

二歳の息子と一歳の娘の子育てに奮闘中の日々。親としては平等に愛情を注ぎ、最良なしに接しているつもりである。しかし現実はその甘くない。息子と娘を比べ、物覚えが早いとか人見知りをしないとか、比べる必要などないはずなのに、いつの間にか比較してしまふ。「平等」なんて夢のまた夢の話だ。

コロナ禍においては、経済を優先する考えと感染対策を徹底する考えで意見が真っ二つに分かれている。経済を優先させれば感染が拡大し、感染対策に重点を置けば経済が衰退する。私たちの願いはどちらも「平等」に「円満」に解決することであるが、現実はどうもまくはいかない。

親鸞聖人の仰せには、「卯毛羊毛うもうようもうのさきにいるちりばかりもつくるつみの、宿業にあらざということなし」(『歎異抄』第十三章)とある。子育てもコロナも私の身に起こる事実だが、その悩みの原因は何事も分別してしまふ、私の煩惱にある。

私たちが願っていることは、経済の問題もコロナの問題も円満に解決することである。しかし我々のはからいでは、どちらかを選び、どちらかを捨てることでしか答えを見いだせない私たちの業の深さがある。

南無阿弥陀仏の救いとは、経済回復やコロナ終息ではない。もちろん子育て成就でもない。我々が抱えている悩みや苦しみの根本が、全て宿業(煩惱)であることに気付かせることだ。大きなことは、根本を明らかにすることである。何が問題なのかはつきりすれば、困難を抱えながらも、豊かな生活が開かれるのではないだろうか。

(蓮井 邦宗 記)



信頼とは、時間をかけて育んでいくものというか。それに信頼と言うのは、信用を積み重ねていった結果として、得られるものだと思います。急に手に入ったりはしないわけで、信頼関係を急いで手に入れようとすると、むしろ、信頼関係は崩れてしまったりします。時間がかかります。何か得策は、ふれあい! 握手!!

こんな当たり前のことが? 1日も早く取り戻したいですね!!

(60代男性 コーヒー屋さん)



二月に掲げた
山門の言葉を
皆さんはどう聞いたのか、
お尋ねしました。

みんなは
こう聞いた!!



今日、「信頼する」ということが難しくなっているように思う。

特にコロナ禍に入ってから、多くの情報が飛び交うも何が正しいのか分からなくなり、それこそ信頼するということが出来ない時代になっているようにも感じる。

(40代男性 医師)



住職就任のご挨拶

この度、僭越ではございますが西徳寺住職を拝命致しました。

全世界が新型コロナウイルスに翻弄され、価値観が大きく変わり、当たり前が当たり前とは言えない時代が到来しています。

お寺のみならず、その厳しい現実の只中、人と会い語り合うということがどれほど贅沢であり人間普遍の営みだったんだと痛感させられております。失った時、その大切さに気が付かされるのも世の常なのかもしれません。

この辛く苦しい現実の中に「教え」を見出す力がお念仏と頂いております。そのみ教えを中心に、人と人が出会い、語り合えるお寺でありたいと思います。

コロナ禍、引き続き皆様にはご自愛頂き、お大事にお過ごしいただきたく存じます。

改めて今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

合掌

西徳寺住職 山崎 哲



山崎哲新住職の ここが凄い

【聞きぬく力】

山崎新住職といえば、なんといってもご門徒様と向き合う姿勢が凄い。どんな方とも納得がいくまで、何度もお話を聞いていかれる姿勢には、いつも勉強させていただいております。

新体制となる今、ご門徒様とのコミュニケーションは、改めて皆様の声を聞かせていただく事から始まると思っておりますので、「聞く」ということを大切に、新住職と共に歩みたいと思っております。

(大橋 伊知郎)

大谷最高顧問挨拶

西徳寺では、すでにご報告しておりますように、3月から当寺で20年間勤務、活躍してきた山崎哲氏が顧問会、責任役員会、総代会全員の推薦を得て住職に選任され、京都佛光寺本山から任命されました。また各法務員もそれぞれ新たな役職に就き、新体制となります。

コロナが世界に蔓延し社会状況が激変する中、寺院の在り方も根底から問われております。江戸から400年の歴史を有する西徳寺も、親鸞聖人のみ教えのもと、南無阿弥陀仏の歴史が私たちの生きる問いに応え得るにはどうしたらよいか、先ず僧籍を持つ者の課題として真剣に取り組まなければなりません。

皆様からのより一層のご協力を賜りたく、心からお願い申し上げます。



新法務員体制

新たな出発にあたり、心機一転の観点から法務員に以下の配役をお願い致しました。

大橋伊知郎 副住職(総務)

高橋淳 主任(財務・経理)

蓮井邦宗 主任(法務)

仲井真裕 主任(庶務)

なお、この配役につきましては、業務の分担という意に止まらず、お互いにフォローし合いながらご門徒に向き合う旨を理解してもらっております。今まで通り、皆様には話しやすい法務員に、内容を問わずお気軽にご相談等下さい。 西徳寺住職 山崎 哲



おおはし いちろう

大橋 伊知郎 副住職

滋賀県米原市(光台寺池下道場)出身

昭和54年3月5生まれ(42才)

西徳寺入寺 平成16年4月

この度は西徳寺副住職を仰せつかり、誠に恐縮しております。西徳寺の護持発展とご門徒の皆様の為、一生懸命努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

また、今月より西徳寺は新体制で始動し、30代・40代が中心となりますので、フットワークは軽く、何処へでもお参りやご相談に伺えます。

いつでもお気軽にお問い合わせ下さい。

大橋伊知郎の
ここが凄い
【洞察力】

ユーモラスな人柄で皆を楽しませてくれる半面、冷静に物事を見通す鋭い洞察力。その感覚は趣味のビリヤードで磨かれているのか。(仲井 真裕)



たかはし じゅん

高橋 淳 財務・経理主任

新潟県出雲崎町(万因寺)出身

昭和57年9月1生まれ(38才)

西徳寺入寺 平成20年3月

何となく立ち寄ってみたいくなる、そんな地域に根差したお寺を目指たく努めてまいります。音楽・DIY・江戸文化・鉄道に興味がありますので、お声がけください。

高橋淳の
ここが凄い
【努力を惜しまぬ
チャレンジャー】

「とりあえずやってみる」の精神で、どんなことにも果敢に挑戦していく姿勢は惚れ惚れします。守りに入らず攻めることを忘れない熱き挑戦者です。(蓮井 邦宗)



はすい くにとし

蓮井 邦宗 法務主任

滋賀県守山市(西福寺)出身

昭和58年5月11生まれ(37才)

西徳寺入寺 平成21年1月

この度、法務主任という役職を仰せつかりました。お経の読み方や法要での作法等を中心に、これまで以上に勉強していきたいと思ひます。ご門徒の皆様にも、法要がもっと身近なこととして感じられるように努力していきたいと思ひます。

蓮井邦宗の
ここが凄い
【バイリンガル】

オーストラリアに約4年間の留学経験があり、とても流暢な英語が話せる。ちなみに、アメリカからの旅行者は「日本人でこんなに上手い英語を聞いたのは初めてだ」と褒められていた。今後、西徳寺の国際化には欠かせない人物だ。(大橋 伊知郎)



なかい まさひろ

仲井 真裕 庶務主任

滋賀県草津市(常教寺)出身

昭和58年12月1生まれ(37才)

西徳寺入寺 平成21年3月

庶務主任ということで、併せて次年度より当紙「えこお」の編集長となることとなりました。好奇心を忘れないよう、皆様とともに西徳寺をお守りしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。今まで通り気軽に「仲井くん」と声を掛けてください。

仲井真裕の
ここが凄い
【探究心】

物事を単に眺めるだけでなく、その原因を追究する能力に驚かされる。その力は仏教に限らず、お笑い、スポーツ、酒と幅広い。(高橋 淳)

「令和二年七月豪雨」(熊本県)救援金募金報告

昨年発生した豪雨に対する募金箱を(令和2年9月中旬～年末迄)設置させていただきましたところ、皆様から多くのご支援をいただきました。

総額112,006円を熊本県益城町の阿弥陀寺(大谷義文様)開設の口座に送金させて頂きました。

一日も早い復興を願うと共に、皆様からの温かいご支援に対しまして心より御礼申し上げます。

西徳寺住職 山崎 哲

私のいいね!



「ウイスキー」 仲井 真裕

以前は友人の影響もあり、ビール党でした。しかし8年ほど前、西徳寺とご縁の深かった宗正元先生に、バーへ連れて行っていただきました。その際「彼にはウイスキーをロックで」と、初めてシーバスリーガルをいただきました。そこからウイスキーにはまり、安く買えるウイスキーを買っては家で飲んでいます。

ウイスキーは「時間を飲む飲み物」といわれるように、樽に入れて長く熟成されるお酒です。また、同じ原料でも作られる場所や人、寝かせる樽の違い、ブレンドによって全く味が変わるので。環境に左右される、人間と似ているなという親近感も覚えます。そんなウイスキーを飲みながら、ぼんやり思索を巡らす、そんなひと時が私の好きな時間です。

高いウイスキーにはなかなか手が出ませんが、飲んだことのないウイスキーと出会ってみたいです。



シーバスリーガル12年



私のいいね!



「ドライブ」 蓮井 邦宗

20歳で免許を取得して、地方出身ということもあり、車は生活の一部でした。最初買った車がホンダシビックタイプR(中古)で、車の運転の楽しさに目覚めました。地元の滋賀にいたときは、暇な時はドライブで琵琶湖一周していました。東京に来てからは、独身時代はよく関東近郊のダム巡りをしていました。筑波サーキットも走行する機会があったりと、カーライフを満喫しています。今はファミリーカーでファミリー走行になりましたが、たのしいドライブをこれからも続けていきたいです。



墓地管理料および維持会費納入のお礼とお願い

平素より門信徒の皆様には、当寺の護持に並ならぬご尽力を賜りまして、誠にありがとうございます。皆様の物心両面でのお支えのお陰をもちまして、墓地ならびに諸伽藍の維持をすることができておりますこと、重ねて御礼申し上げます。

引き続きましてのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

墓地年間管理料：15,000円(墓地所有者のみ)

年間維持会費：一口5,000円～(全門信徒対象)

※同封の振込用紙もご使用いただけます。



きょうしよもん 慶所聞

～よろこび合う生活～

学生時代、音楽とスポーツが大好きで、実はなりたかった職業が雑誌記者でした。

一年間、『えこお』の編集担当を任せられ、コロナ禍で出来なくなったこともありましたが、お土産コーナーで散歩途中に見つけたお店を紹介でき、お参りの方々から「あのお店行ってきたよ」と言ってもらえたことなど、喜びを感じることも多くありました。

続けて、4月からは編集長になることになりました。多くの方にお読みいただけていることを実感した1年でありましたので、また襟を正し、より楽しんで読んでいただける『えこお』にしていきたいと思います。感想やご意見お待ちしております。

(仲井 真裕 記)



この1年間、「えこお」の編集は正直大変でした。コロナの影響で、目玉企画であった「お斎ナビ」は数回しかできず、それに代わる記事を考えたり、毎月の行事予定も赤字で「中止」と書くことへの葛藤があったりと、悩ましい限りでした。

しかしその反面で、人の繋がりがいかに大切であり、継続することの困難さを思い知らされました。人に思うように会えない中でお寺に、僧侶に何ができるのかをあらためて考える機会となったことも事実です。

これからも直接会えなくても、「えこお」を通して人に会える、そんな誌面作りができるように頑張っていきたいと思います。

(蓮井 邦宗 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook